

事業所名

京都聴覚障害児放課後等デイサービス「にじ」

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

20 日

|           |                 |                                                                                                                                                                                             |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |
|-----------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------|------|---------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 法人（事業所）理念 |                 | 1. 聞こえとことばに障害のある人ひいては、すべての人々の社会への「完全参加と平等」をめざす。<br>2. 人々の豊かなコミュニケーションと、言語（手話を含む）選択の自由が保障される社会をめざす。                                                                                          |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |
| 支援方針      |                 | 1. 手話を始めとする様々なコミュニケーションに手話を用いた丁寧な配慮をおこない、子どもの福祉の増進を図る。<br>2. 子どもの人格と個性を尊重し、社会生活力を高める支援を行う。                                                                                                  |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |
| 営業時間      |                 | 10 時                                                                                                                                                                                        | 0 分 | 18 時 | 45 分 | まで      | 送迎実施の有無 | あり                                                                                            | なし |
|           |                 | 支 援 内 容                                                                                                                                                                                     |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |
| 本人支援      | 健康・生活           | ・お子さんの心身の状態をきめ細かに確認し、異なった状態が確認できた時は速やかに必要な対応をします。<br>・放課後、土曜日、長期休暇に安定した生活習慣、生活リズムで過ごせるよう支援します。<br>・様々な遊びを通して、学びが促進されるよう環境を整え、視覚的に分かりやすく構造化しています。                                            |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |
|           | 運動・感覚           | ・遊びや生活の中での体験やからだの動きから、視覚・聴覚・嗅覚・固有覚・前庭覚などの感覚を活用できるよう支援します。<br>・公園遊び、アスレチック、山登りなど野外活動をたっぷり経験し、粗大運動の発達を促します。<br>・調理、工作、遊び等の活動で微細運動の発達を促します。                                                    |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |
|           | 認知・行動           | ・手話、絵カード、写真、文字など視覚的に分かりやすい手段を用いて見通しを持って活動できるよう支援します。<br>・一人一人の認知の特性を理解し、個々に合わせた支援を行います。<br>・小集団での遊びや活動を通して、適切な行動形成、認知の偏りの再構成を支援します。                                                         |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |
|           | 言語<br>コミュニケーション | ・音声に加え、手話、指文字、身振りなど視覚的に分かるコミュニケーション手段を用いて関わり、「伝えたい」「知りたい」意欲を育てます。<br>・お子さんを主体としたグループワーク(遊びの相談、ルール作りなど)を重ね、お互いを求め合い、認め合うコミュニケーションを支援します。<br>・自分の聴こえ、聴きやすい環境、聴覚以外の代替手段を知り、自信と自尊心を持てるように支援します。 |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |
|           | 人間関係<br>社会性     | ・安心、信頼できる環境、人間関係の中で様々な遊びや体験を重ね、社会性を養います。<br>・幅広い年代のろう・難聴のロールモデルとの交流を通して、自信と自尊心を持てるように支援します。<br>・公共交通機関の利用方法、公共の場所でのマナー、情報保障の求め方などを身に付け、将来の自立に繋がります。                                         |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |
| 家族支援      |                 | ・毎月、保護者手話交流会を開催し、手話を学べる場、ろう・難聴ロールモデルとの交流、保護者同士の交流の機会を提供しています。<br>・きょうだいや友だち、保護者も参加できるイベントを実施しています。<br>・随時、保護者からの相談援助を実施しています。                                                               |     |      |      | 移行支援    |         | ・学校、医療機関、お子さんが通所されている他施設、行政等、関係機関と積極的に連携を取っています。                                              |    |
| 地域支援・地域連携 |                 | ・京都市身体障害者団体連合会、中京区社会福祉協議会等と連携し、地域の方も参加できるイベントを実施し、交流しています。<br>・成人、高齢の聴覚障害者施設・団体と交流しています。                                                                                                    |     |      |      | 職員の質の向上 |         | ・日々の取組を輪番制にし、PDCAサイクルで業務改善・質の向上に努めています。<br>・課内研修、外部研修に積極的に参加しています。<br>・手話検定取得等で手話力の研鑽に努めています。 |    |
| 主な行事等     |                 | ・室内行事(季節に関する行事、工作、調理、入学・進級・卒業お祝い会など)<br>・体を使ったレクリエーション、運動会、プール、アイススケート、アスレチック、デフサッカースクールなど。<br>・公共交通機関を使った外出(社会見学、動物園、水族館、美術館、公園など)<br>・中高生夏休みお泊り会、京都市主催きもの・着付け体験、春休み卒業お祝いツアーなど             |     |      |      |         |         |                                                                                               |    |